

築山小、中通小の統合に関するこれまでの協議について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域協議の第1段階である地域ブロック協議会を市内7つの地域に設置し、その中で組合せが決定した学校については、第2段階である学校統合検討委員会において、対象校の関係者で、統合の可否について、検討を継続しています。

1 中央地域ブロック協議会【第1段階】

中央地域では、これまで6回開催しており、協議の中で小学校については、築山小と中通小、旭北小と旭南小、八橋小と寺内小の組合せで、第2段階である学校統合検討委員会に進めることを決定した。

2 築山小、中通小学校統合検討委員会【第2段階】

(1) 第1回学校統合検討委員会（令和3年7月30日開催）

ア 主な意見等

- ・中通小は単級であることが最大の課題であったが、今後は1学年2学級で推移することが予想されるほか、秋田南中の改築により児童数が増加する可能性があることから、今後の推移を見ながら、協議を再開してはどうか。
- ・築山小PTAとしても急いで進める必要はないと思うが、この学校統合検討委員会は、PTAや地域の代表者が集まる貴重な機会であることから、1年に1回程度、意見交換してはどうか。

イ 確認事項

- ・築山小、中通小学校統合検討委員会は、今後の児童数の推移を見ながら、1年に1回を目途に、協議を継続する。

(2) 第2回築山小、中通小学校統合検討委員会（令和4年7月21日開催）

ア 主な意見等

- ・築山小PTAとしては、令和10年度まではある程度の児童数が維持される見込みであることや、子どもたちがほどよい環境の中でのびのびと活動しているため、現状維持が望ましいと考える。
- ・引き続き、年1回程度の開催により、児童数の推移を見ながら、情報共有してはどうか。

イ 確認事項

- ・築山小、中通小学校統合検討委員会は、今後の児童数の推移を見ながら、1年に1回を目途に、協議を継続する。